

結婚・出産特集

長男 ^{タイガ}大河の誕生

第1期 OB 柳川 政人

2010年12月7日23時44分、分娩室に鳴り響いた清々しい鳴き声が隣の部屋で待機していた私の眠気を吹き飛ばした。長男の誕生の瞬間である。長男は寅年生まれであること、大きく、河の如く心の広い子に育てて欲しいとの願いから「^{タイガ}大河」と名付けた。余談だが、私が大の阪神タイガースファンであることは、命名に直接的には関係していないはずである。

「^{タイガ}大河」は2月で生後2カ月を迎え、表情はどんどん豊かになり、「あ〜、あ〜」と解読不明の“^{タイガ}大河語”を駆使する毎日である。私も^{タイガ}大河の成長と共に、最低一日一回はオムツを換え、そして、ミルクを与え、「イクメン」になるべく新米パパ見習い修行の毎日である。また、週末のお風呂は父と子の「裸のコミュニケーション」の場であり、長男は風呂好きであることも手伝い、気持ち良さそうな笑顔を振りまいてくれる。平日は残業や会食で帰りが遅くなることもしばしばであるが、^{タイガ}大河の寝顔は疲れを忘れさせてくれる。そんな我が家の天使に会う為に、早く帰宅できる日は早く帰宅し、^{タイガ}大河や嫁との時間を少しでも作ろうと心掛ける毎日でもある。



著者の手による沐浴

さて、どんどん成長する我が子を見ながら、我が息子はどんな子に育つのだろうかといった、気の早い夢を語ることが、最近の我が家の流行である。男の子に生まれたからには、プロ野球選手にすべく、英才教育と題して生後1カ月過ぎからキャッチボールを試みているが、なかなか上手く行っていない。

しかし、最近判明したことは、大河は^{タイガ}どうやら左利きではないかという点である。手を挙げる仕草やこぶし舐めは決まって左手なのである。果たして未来の阪神タイガースの左の大エースになるのか、今から楽しみである。*予めお断りしておくが、読売巨人軍を好むことは、私の教育上、絶対に有り得ません。

一方、野球の英才教育は成果を発揮していないが、サッカーに関しては才能を開眼させており、両足の裏を駆使して、ボールキープをすることが出来るのである！もしかすると、野球では無く、未来のサッカー日本代表のサムライブルーを背負ってワールドカップの舞台に立つ日が来るかも知れない。

そんな中、嫁は未来の「石川 遼」に育てることを計画しているようだ。私もゴルフは大好きなので、「石川 遼」は好きであるが、今でこそジュニアのゴルフに対して理解が深まり、門は開けているが、ゴルフの英才教育にはいかんせんお金が掛かり過ぎる。F1ドライバー育成にも同じことが言える。

生後2カ月足らずで、これだけ我が家の生活に光をもたらす我が家のスター「大河」^{タイガ}。今後も七色の光で我が家を盛り上げていくことだろう。そして、私たち、両親にとって、彼の成長がとても楽しみでならない。我が子には好きなことをさせてあげたいと考えているが、財布に優しい子に育ててもらいたいと秘かに願う父親であった。



早くも入団会見の予行練習！？